



2023年1月16日

株式会社 阿波銀行

大和設備工業株式会社の「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、大和設備工業株式会社（代表取締役 岩田 浩輔、本社：徳島県徳島市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

| | |
|-----|---------------------|
| 企業名 | 大和設備工業株式会社 |
| 所在地 | 徳島県徳島市八万町夷山 20 番地 2 |
| 代表者 | 岩田 浩輔 |
| 業種 | 管工事業 |
| 設立 | 1965 年 7 月 1 日 |

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

SDGs宣言書

2023年1月16日



大和設備工業株式会社 代表取締役 岩田 浩輔

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

| 項目 | テーマ | 取組み内容 | ①取組みと②数値目標 | SDGsのゴール |
|-----------|-------------------------|---|--|----------|
| 社会 | 従業員の ウェルビーイングの 向上 | 心身共に健康で、働きがいをもって働けるよう、社員の健康の維持に努めるとともに、持続可能な働き方の実現をサポートします。 | ① 健康診断の年度平均受診率の向上 | |
| | | | ② 健康診断の年度平均受診率100%を維持 | |
| 環境 | ゴミ・廃棄物 削減 | 未来の地球環境を守るため、自社で排出する廃棄物の削減やリサイクル等の活動に努めます。 | ① 廃棄物排出量の削減、リユース・リサイクルの推進 | |
| | | | ② 管材の廃棄率を10%以下 | |
| 環境・ 経済 | 省エネ・温室 効果ガスの 排出削減 | CO2排出抑制のために、エネルギー使用量の把握に努め、さらなる省エネ節電を推進します。 | ① (1)LED化の推進 (2)温室効果ガスの排出量算定・削減 | |
| | | | ② (1)2027年度までに導入率70% (2)2023年度までにエネファーム導入 | |
| 社会・ 経済 | 社会貢献の 経営方針への 統合 | 持続可能な地域づくりに貢献すべく、社会的課題を事業課題として捉え、その解決に積極的に取組みます。 | ① アドプト事業の継続 | |
| | | | ② 2023年度までに夷山公園の清掃を追加 | |

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。